

## 【DS-6：最近のエネルギー事情と岩盤工学】

## セッション主旨

原油価格下落の一因と言われる米国のシェールガス・オイル革命や、日本におけるメタンハイドレート、地熱開発等の再生可能エネルギーなど、エネルギー開発が活発化しています。一方、原発問題の根底にある放射性廃棄物、経済活動に由来する人為起源のCO<sub>2</sub>などエネルギーの副産物を岩盤中に安定的に隔離することが喫緊の課題となっています。

本DSでは、これらエネルギー事情を踏まえ、関連する研究課題について、表に示すような岩盤工学の最新の研究事例や解決すべき課題について討議します。

2015/9/2 9:00~10:30 10:45~12:00

DS-6-1	内山 洋司	筑波大学 名誉教授
今後のエネルギー需給と技術開発		
DS-6-2	川島 文治	日本CCS調査株式会社
苫小牧地点におけるCCS大規模実証試験の概要		
DS-6-3	窪田 健二	(一財)電力中央研究所
堆積軟岩の原位置加熱実験－比抵抗トモグラフィによる加熱・不飽和帯進展状況のモニタリング－		
DS-6-4	保木 勇介	関西大学
CFD-DEMによるグラウト動的注入工法のシミュレーション		
DS-6-5	船引 彩子	日本大学
地中熱利用における採熱量期待値表示システム		
DS-6-6	大竹 健司	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構
最近のエネルギー事情とエネルギー備蓄		
DS-6-7	玉川 哲也	石油資源開発株式会社
女川層タイトオイル開発と水圧破碎デザイン		
DS-6-8	伊藤 高敏	東北大学
メタンハイドレート開発を目的とした未固結地層におけるフラクチャー挙動の実験的研究		
DS-6-9	海江田 秀志	(一財)電力中央研究所
地熱開発の現状と地熱増産システム(EGS)技術開発		
DS-6-10	中川加明一郎	株式会社 ダイヤコンサルタント
再生可能エネルギーによる圧縮空気貯蔵		
DS-6-11	末永 弘	(一財)電力中央研究所
圧縮空気を用いたエネルギー貯蔵技術について		